

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 株式会社 サニックス
コード番号 4651 URL <http://sanix.jp>

上場取引所 東大福

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 宗政 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 下城 正寛

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	12,057	△10.1	185	—	133	—	60	—
21年3月期第2四半期	13,412	—	△351	—	△368	—	△737	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1.27	—
21年3月期第2四半期	△15.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	20,678	10,788	52.0	225.50
21年3月期	20,869	10,730	51.3	224.30

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 10,758百万円 21年3月期 10,701百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,457	16.7	625	—	473	—	340	—	7.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	48,919,396株	21年3月期	48,919,396株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,209,821株	21年3月期	1,209,633株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	47,709,668株	21年3月期第2四半期	47,710,300株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、昨年来の金融危機による世界的な景気悪化から、景気底入れの兆しも見え始めてはいるものの、雇用情勢や個人消費の低迷は依然として厳しい状況が続いており先行き不透明な状況にありました。

このような厳しい経営環境の中で、当グループは、エコビジネスのリーディングカンパニーとして、コンプライアンス体制の強化や顧客本位の営業活動を推し進めるとともに、生産性の向上及びコスト削減による経営の合理化に注力し、業績回復を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、景気低迷のあおりを受け、HS（ホーム・サニテーション）事業部門、ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門、環境資源開発事業部門ともに前年同期比減収となり、グループ全体の売上高は12,057百万円（前年同期比10.1%減）となりました。利益面では、グループ全体として合理化策の推進により固定費削減が進み収益性が改善しました。営業外費用として、連結子会社である株式会社サニックスエナジーが、平成21年10月30日に北海道苫小牧市にある最終処分場を買収したことに伴う支払手数料54百万円を、当第2四半期連結会計期間において計上しております。また、特別損失として、過年度事業税59百万円を計上しております。この結果、グループ全体の営業利益は185百万円（前年同期は351百万円の営業損失）、経常利益は133百万円（前年同期は368百万円の経常損失）、四半期純利益は60百万円（前年同期は737百万円の四半期純損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間の事業部門ごとの状況は次のとおりであります。

①HS（ホーム・サニテーション）事業部門

当第2四半期連結累計期間においては、個人消費の低迷が続いているなか、「白蟻防除施工」は白蟻防除の繁忙期（4月～6月）にはテレビCMを展開した効果があったものの前年同期比7.6%減となり、一昨年2月に新商品として販売した「基礎補修・補強工事」は、顧客への提案が一巡したこともあり前年同期比40.7%減となりました。「床下・天井裏換気システム」は堅調に推移し前年同期比25.1%増となりました。この結果、売上高は7,212百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

営業損益は、広告宣伝費を前年同期に比して抑制したこと等により、営業利益は2,098百万円（前年同期比12.0%増）となり、売上高対営業利益率は29.1%（前年同期は23.5%）となりました。

②ES（エスタブリッシュメント・サニテーション）事業部門

営業効率の向上を図るべく、平成21年3月に13店舗の店舗統廃合を実施し、東京・名古屋・福岡エリアにおけるビル・マンションの不動産管理会社等の法人営業に注力することで、収益性の改善を進めてまいりました。この結果、売上高は1,229百万円と前年同期比26.6%減となったものの、営業損益は合理化を推進したことにより固定費が低減し、営業利益は78百万円（前年同期は7百万円の営業損失）となり黒字に転換しました。

③環境資源開発事業部門

「廃プラ加工処理」は、経済不況による排出元企業のコスト削減ニーズに対応し、受入単価は下がったものの取引先件数と搬入量が増加し、前年同期比8.3%増となりました。サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）においては、製造業の生産調整等による電力需要の低迷により売電単価が下落したものの、安定的な連続操業により「売電収入」は前年同期比3.7%増となりました。「有機廃液処理」は、景気悪化の影響による外食産業や食品工場からの排出量の減少の影響が続いたため前年同期比23.4%減となりました。この結果、当事業部門の売上高は3,616百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

営業損益は、サニックスエナジー苫小牧発電所（北海道苫小牧市）では、5月に実施した年一回の定期修繕において追加工事が発生したことにより修繕費が増加しました。また、各プラスチック資源開発工場においては、搬入量増加を見据えた人員増強を実施してきたことにより販売費及び一般管理費が増加しました。この結果、営業損失は937百万円（前年同期は1,045百万円の営業損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は20,678百万円となり、前連結会計年度末比191百万円減少しました。主な要因は、有形固定資産の減価償却による減少によるものであります。負債合計は9,889百万円となり、同249百万円減少しました。主な要因は、未払金の減少によるものであります。純資産合計は10,788百万円となり、同58百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益60百万円を計上したためであります。その結果、自己資本比率については前連結会計年度末51.3%に対し、当第2四半期連結会計期間末は52.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,200百万円となり、前連結会計年度末に比べて150百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、356百万円の収入（前年同期比423百万円収入の増加）となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益132百万円を計上したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、87百万円の支出（前年同期比97百万円支出の減少）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出103百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、118百万円の支出（前年同期比35百万円支出の増加）となりました。主な要因は、借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成21年5月13日に公表いたしました平成22年3月期第2四半期連結累計期間及び平成22年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細は平成21年11月11日公表の「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成22年3月期 通期連結業績予想数値（平成21年4月1日～平成22年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	25,000	750	720	600	12.58円
今回修正予想 (B)	29,457	625	473	340	7.14円
増減額 (B - A)	4,457	△ 125	△ 247	△ 260	—
増減率 (%)	17.8	△ 16.7	△ 34.2	△ 43.2	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	25,233	△ 596	△ 620	△ 4,145	△ 86.88円

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

(追加情報)

当社は、平成21年5月13日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を平成21年6月26日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止することを決議しました。本制度の廃止に伴い、同株主総会終結までの在任期間に対応する役員退職慰労金を、当社における所定の基準に従い、相当額の範囲内で打ち切り支給することとし、その支給の時期については各取締役および各監査役退任の時とし、その具体的な金額、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役の協議に一任することで承認可決されました。このため、当該支給見込額については、引き続き役員退職慰労引当金に含めて計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,200,588	1,064,885
受取手形及び売掛金	1,604,845	1,678,368
商品及び製品	63,528	52,928
原材料及び貯蔵品	538,164	564,104
その他	620,085	642,392
貸倒引当金	△105,829	△107,990
流動資産合計	3,921,381	3,894,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,920,697	3,041,333
機械装置及び運搬具(純額)	2,380,895	2,493,039
土地	9,535,429	9,535,429
その他(純額)	312,044	257,798
有形固定資産合計	15,149,067	15,327,601
無形固定資産	73,451	77,307
投資その他の資産	1,534,175	1,569,724
固定資産合計	16,756,694	16,974,634
資産合計	20,678,076	20,869,323
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	583,688	530,469
短期借入金	5,241,000	5,316,000
未払法人税等	164,819	159,584
引当金	76,263	122,537
その他	2,173,594	2,407,869
流動負債合計	8,239,367	8,536,460
固定負債		
長期借入金	12,500	15,500
退職給付引当金	1,222,267	1,130,617
役員退職慰労引当金	213,145	229,845
その他	201,817	226,661
固定負債合計	1,649,730	1,602,624
負債合計	9,889,097	10,139,085

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041,834	14,041,834
資本剰余金	—	1,758,841
利益剰余金	△1,704,186	△3,523,538
自己株式	△1,610,730	△1,610,705
株主資本合計	10,726,918	10,666,432
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,790	34,636
評価・換算差額等合計	31,790	34,636
少数株主持分	30,269	29,169
純資産合計	10,788,978	10,730,238
負債純資産合計	20,678,076	20,869,323

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	13,412,236	12,057,849
売上原価	7,757,156	6,889,060
売上総利益	5,655,080	5,168,789
販売費及び一般管理費	6,006,511	4,983,786
営業利益又は営業損失(△)	△351,431	185,002
営業外収益		
受取利息	3,516	3,571
受取配当金	10,826	6,267
受取地代家賃	33,603	33,640
その他	11,904	20,916
営業外収益合計	59,851	64,395
営業外費用		
支払利息	75,342	59,585
支払手数料	—	54,403
その他	1,232	1,665
営業外費用合計	76,575	115,654
経常利益又は経常損失(△)	△368,155	133,743
特別利益		
賞与引当金戻入額	—	53,632
受取保険金	270,779	1,000
保険差益	—	14,553
特別利益合計	270,779	69,186
特別損失		
固定資産除却損	243	7,967
減損損失	333,000	—
災害による損失	270,651	—
リース解約損	1,268	1,758
投資有価証券評価損	—	852
貸倒引当金繰入額	525	—
過年度事業税	—	59,406
特別損失合計	605,689	69,984
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△703,065	132,945
法人税、住民税及び事業税	45,743	61,738
法人税等調整額	△13,646	9,270
法人税等合計	32,096	71,009
少数株主利益	2,611	1,425
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△737,773	60,511

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,828,686	5,769,298
売上原価	4,161,488	3,280,635
売上総利益	2,667,198	2,488,662
販売費及び一般管理費	2,895,656	2,370,386
営業利益又は営業損失(△)	△228,458	118,276
営業外収益		
受取利息	1,806	1,806
受取配当金	0	—
受取地代家賃	16,801	16,819
その他	4,688	3,827
営業外収益合計	23,297	22,453
営業外費用		
支払利息	37,679	29,866
支払手数料	—	54,376
その他	580	1,082
営業外費用合計	38,259	85,325
経常利益又は経常損失(△)	△243,420	55,404
特別利益		
受取保険金	△47,220	1,000
保険差益	—	14,553
特別利益合計	△47,220	15,553
特別損失		
固定資産除却損	243	3,496
減損損失	333,000	—
災害による損失	△47,348	—
リース解約損	741	1,116
投資有価証券評価損	—	852
貸倒引当金繰入額	525	—
過年度事業税	—	59,406
特別損失合計	287,162	64,870
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△577,803	6,086
法人税、住民税及び事業税	25,512	31,151
法人税等調整額	△10,700	△2,520
法人税等合計	14,811	28,630
少数株主利益	1,481	1,214
四半期純損失(△)	△594,097	△23,758

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△703,065	132,945
減価償却費	434,153	284,257
減損損失	333,000	—
災害損失	270,651	—
受取保険金	△270,779	△1,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	48,963	91,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,187	△3,272
受取利息及び受取配当金	△14,343	△9,839
支払利息	75,342	59,585
固定資産除却損	243	7,967
売上債権の増減額(△は増加)	△1,987	73,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	23,668	15,340
仕入債務の増減額(△は減少)	△90,367	△16,794
その他	△93,251	△108,122
小計	18,416	526,240
利息及び配当金の受取額	14,210	9,510
利息の支払額	△63,470	△45,030
災害損失の支払額	△54,417	△102,852
保険金の受取額	100,779	79,258
法人税等の支払額	△86,119	△110,364
法人税等の還付額	4,049	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,553	356,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△5,000
定期預金の払戻による収入	—	20,000
有形固定資産の取得による支出	△200,955	△103,662
その他	16,380	1,593
投資活動によるキャッシュ・フロー	△184,575	△87,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	300,000	△75,000
長期借入金の返済による支出	△183,002	△13,002
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△30,586
その他	△200,726	△403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,728	△118,991
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△334,856	150,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,019,848	1,049,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	684,992	1,200,588

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環境資源開 発事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,067,751	881,823	1,879,111	6,828,686	—	6,828,686
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	70	70	(70)	—
計	4,067,751	881,823	1,879,182	6,828,757	(70)	6,828,686
営業利益又は営業損失(△)	1,056,945	1,132	△741,213	316,863	(545,322)	△228,458

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環境資源開 発事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,286,567	580,631	1,902,099	5,769,298	—	5,769,298
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,286,567	580,631	1,902,099	5,769,298	—	5,769,298
営業利益又は営業損失(△)	851,707	34,092	△273,687	612,112	(493,835)	118,276

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環境資源開 発事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,975,883	1,674,067	3,762,285	13,412,236	—	13,412,236
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	70	70	(70)	—
計	7,975,883	1,674,067	3,762,355	13,412,307	(70)	13,412,236
営業利益又は営業損失(△)	1,873,248	△7,573	△1,045,393	820,280	(1,171,712)	△351,431

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	H S 事業部門 (千円)	E S 事業部門 (千円)	環境資源開 発事業部門 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,212,559	1,229,170	3,616,119	12,057,849	—	12,057,849
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,212,559	1,229,170	3,616,119	12,057,849	—	12,057,849
営業利益又は営業損失(△)	2,098,004	78,311	△937,387	1,238,927	(1,053,925)	185,002

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
H S 事業部門	白蟻防除施工、基礎補修・補強工事、床下・天井裏換気システム、家屋補強システム等
E S 事業部門	防錆機器取付施工、建物給排水補修施工、建物防水塗装補修施工等
環境資源開発事業部門	廃プラ加工処理、有機廃液処理、売電等

3. 追加情報

前第2四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を変更しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間におけるH S 事業部門の営業利益は156千円減少し、環境資源開発事業部門の営業損失は15,842千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

部門別連結売上高

(単位：千円)

品目	数量 単位	前第2四半期 連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		当第2四半期 連結累計期間 自平成21年4月1日 至平成21年9月30日		比較増減 金額	前連結会計年度 自平成20年4月1日 至平成21年3月31日	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額
		白蟻防除施工	千坪	509	2,990,494		479	2,763,177
基礎補修・補強工事	軒	5,660	2,440,187	3,331	1,447,471	△992,715	10,081	4,374,361
床下・天井裏換気システム	—	—	1,283,657	—	1,606,007	322,349	—	2,549,838
家屋補強システム	軒	282	212,852	244	193,338	△19,513	533	410,317
その他	—	—	1,048,691	—	1,202,564	153,872	—	2,033,948
H S 事業部門計	—	—	7,975,883	—	7,212,559	△763,324	—	14,657,134
防錆機器取付施工	本	338	402,005	270	344,361	△57,643	584	721,745
建物給排水補修施工	—	—	488,580	—	388,590	△99,989	—	876,888
建物防水塗装補修施工	—	—	321,100	—	103,989	△217,110	—	493,423
その他	—	—	462,381	—	392,228	△70,153	—	884,161
E S 事業部門計	—	—	1,674,067	—	1,229,170	△444,897	—	2,976,219
廃プラ加工処理	t	81,934	1,802,714	106,863	1,952,082	149,367	169,875	3,603,757
有機廃液処理	t	70,704	1,020,798	56,616	781,738	△239,060	127,024	1,833,997
売電収入	—	—	614,288	—	637,091	22,802	—	1,550,989
その他	—	—	324,482	—	245,207	△79,275	—	611,607
環境資源開発事業部門計	—	—	3,762,285	—	3,616,119	△146,165	—	7,600,352
売上高計	—	—	13,412,236	—	12,057,849	△1,354,387	—	25,233,705

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。